

☆記録用紙No. 4 「リスクの再見積り/再評価」に関する記録用紙

・グループ名:() ・リーダー:() ・記録:() ・記入日:(年 月 日)

No	危険の内容(記録用紙No. 2と同文)	評価 (記録 3)	採用した保護方法	使用上の情報提供		危険のひどさ の再想定	危険の発生 確率の再想 定	リスクの再評価			制御システム	再評価
				警告ラベル	取扱説明書			危険のひどさ	危害が起こる確率	リスクレベル		
1	刃物を取付時、他人がスイッチを入れ刃物が回転し手を切る。	不可	トビラが開いているときは、刃物は回転しない様インターロックをとる。キースイッチを取付け、作業時作業者がキーを持って行う。	無	無	手の切断	まれに起こる	S3	K1	Ⅲ	カテゴリⅢ	制御システムで対応
2	手を滑らせ、刃物で手を切る。	許容	刃物を扱う時には、手袋を履いて作業を行う。取説に記載。	無	有	手の切傷	まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
3	刃物を足に落とす。	不可	重い物は道具を使用、油等による滑りの排除をする。取説に記載。	無	有	足を押しつぶし切傷	まれに起こる	S3	K1	Ⅲ	カテゴリⅢ	制御システムで対応
4	重量が有る場合に腰を痛める。	不可	重い物は道具を使用、機械装置等を用い作業する。	無	有		まれに起こる	S2	K2	Ⅲ		ユーザー対応で許容
5	刃物を締付け時手を滑らせる。	許容	刃物を扱う時には、手袋を履いて作業をおこなう。取説に記載。	無	有		まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
6	刃物を回転させた時、刃が飛び出す。	不可	カバーを取り付ける。(運転時飛出し防止) 刃物取付時に確認。取説に記載。	無	有		まれに起こる	S1	K1	I		許容
7	加工材の厚みに対して、加圧ローラの高さ調整がされていないため材料が跳ね返る。	不可	薄材の検出用リミットを取り付ける。自動投入装置の採用。前に立たない。取説に記載。	無	有		まれに起こる	S4	K1	Ⅳ	カテゴリⅣ	制御システムで対応
8	跳ね返し防止装置のおろし忘れて材料が跳ね返る。	不可	おろし忘れないよう、取説に記載。自動投入装置の採用。前に立たない。	無	有		まれに起こる	S4	K1	Ⅳ		ユーザー対応で許容
9	跳ね返し防止装置の爪が磨耗して丸くなっているため材料が跳ね返る。	不可	磨耗を確認して貰うよう、取説に記載。自動投入装置の採用。前に立たない。	無	有		まれに起こる	S4	K1	Ⅳ		ユーザー対応で許容
10	厚みムラのある材料による跳ね返りが起こる。	不可	薄材の検出用リミットを取り付ける。自動投入装置の採用。前に立たない。	無	有		まれに起こる	S4	K1	I	カテゴリⅣ	制御システムで対応
11	耳付材を投入した為跳ね返る。	不可	耳付材を投入しない様、取説へ記載する。自動投入装置の採用。前に立たない。	無	有		まれに起こる	S4	K1	I		ユーザー対応で許容
12	材料とテーブルで手を挟む。	許容	取説に記載	無	無		まれに起こる	S1	K1	I		許容
13	木端が飛んでくる。	許容	カバーを取付る	無	無		まれに起こる	S1	K1	I		許容
14	押さえローラーを上げてしまい、材料が飛んでくる。	不可	インターロックにより、加工中は昇降しないようにする。取説に記載。	無	無		まれに起こる	S3	K1	Ⅲ	カテゴリⅢ	制御システムで対応
15	刃物が破損し飛散して作業者に当たる。	不可	カバーを取付る。(防音、防塵室に機械を入れる)	無	無		まれに起こる	S1	K1	I		許容
16	ロール、チェン、ベルトに巻き込まれる。	不可	カバーを取付る。注意マークを貼る。	有	無		まれに起こる	S3	K1	I		許容
17	回転している刃物に手が触れる。	不可	カバーを取付る。注意マークを貼る。	有	有		まれに起こる	S1	K1	I		許容
18	切削音で難聴になる。	不可	カバーを取付る。(防音、防塵室に機械を入れる) 耳栓を使用。	無	有		まれに起こる	S1	K1	I		許容
19	切削屑が飛散して目や鼻に入る。	許容	集塵カバーを取付る、マスクや防塵めがねを使用する。	無	無		まれに起こる	S1	K1	I		許容
20	エアークューブを抜いた時、粉塵が飛び散り目に入る。	許容	防塵眼鏡を使用。	有	無		まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
21	部品を持ち上げる時、腰を痛める。	不可	重い物は道具を使用、機械装置等を用い作業する。	無	無		まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
22	部品を持ち上げる時、手足を挟む。	許容	重い物は道具を使用、油等による滑りの排除をする。	無	無		まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
23	機械吊り下げ時、手足を下に入れた時に落下し挟む	不可	吊り下げ時下に行かない(安全作業心得参照)	無	無		まれに起こる	S3	K1	Ⅲ		ユーザー対応で許容
24	制御盤が倒れて下敷きになる	不可	機械や床にボルトで固定する	有	有		まれに起こる	S1	K1	I		許容
25	刃物軸が停止しない内に、刃物に触ってしまう。	許容	注意マークを貼り、取説に記載。	有			まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容
26	電源を切らずに可動部が動き出す。	不可	工場内給電部に安全スイッチを取り付ける。取説に記載。	無	無		まれに起こる	S3		Ⅲ		ユーザー対応で許容
27	粉塵をエアードスタで清掃中に、粉塵が飛び散り目に入る。	許容	防塵眼鏡を使用	無	無		まれに起こる	S2	K1	Ⅱ		ユーザー対応で許容